

【住民参加企画】

まちなこえ

～広報広聴委員が聞く～



地域活動に取り組む 江陵高校の皆さん



初のプロ野球選手誕生に沸く江陵高校を取材しました。

同校は開校 61 年（幕別町に移転して 32 年）の歴史ある高校です。2005 年には十勝管内で初めて福祉科を開設し、福祉施設への訪問や募金、除雪、地域での清掃等様々なボランティアを全校挙げて日常的に行っており、地域に根差した活動は高く評価されています。

今回は、生徒会執行部から生徒会長の任田（とうだ）さん、副会長の鈴木さん、行事委員長の倉重さん、美化委員長の渡我部（わたかべ）さん、風紀委員長の柏さん、会計の木島さん（写真右から）に日頃の活動の様子や今後の想いを伺いました。（たくさんのお話の中から抜粋して一部を紹介します。）

《幕別町の印象》

- 募金活動をしているときに、皆さんが笑顔で協力してくれる。
- 町で会うと挨拶をしてくださるので、自分もがんばろうという気持ちになる。
- 学校祭で声を掛けてくれたり、差し入れをしてくれる。あたたかい。
- のんびりしていて住みやすそう。

《地域でこんなことをしていきたい》

- 福祉施設で実習をし、技術を身につけるだけでなく、一人ひとりに対して気遣いができるように学んでいきたいと思った。喜んでくれるのが嬉しく、次への意欲へ繋がっている。
- 学校祭では地域の方にも踊りやパレードに参加してもらい一体感が持てるような行事にしたい。
- 子供たちに体を動かしてもらうようなイベントをしたい。

～あとがき～

その他にも、コミバスの乗車率向上や札内駅周辺の活性化について、取材中に意見交換で盛り上がる場面もあり、高校生の発想の豊かさ、可能性をあらためて認識してきました。

そして、頼もしく話をされる生徒さんの姿に、同席いただいた校長先生が嬉しそうでした。ご協力ありがとうございました。（聞き手 内山美穂子 小田新紀）

編集後記

12 月定例会では、13 人による一般質問と指定管理に関する議案等について、たくさんの議論が交わされました。

議会だよりは、年 4 回開催される定例議会や臨時議会の内容を多くの町民の皆さまに知っていただきたいという思いで編集し、各家庭に配布しています。

今後も町行政・町議会により関心を持っていただけるよう、分かりやすい紙面づくりを目指して、町民と議会の架け橋となるよう努めていきたいと思ひます。

荒 貴賀

議会広報広聴委員会

委員長 谷口和弥 副委員長 岡本眞利子

委員 板垣良輔 荒 貴賀 小田新紀 内山美穂子
若山和幸 小島智恵 東口隆弘

〇お知らせ

図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

議会を傍聴して

札内桜町 小澤 広美

この度、新庁舎の見学も兼ね、10 カ月の娘と議会を傍聴させていただきました。娘が傍聴中に声を出しヒヤヒヤしましたが、皆さんが温かい雰囲気を受け入れてくださり安心しました。



議会では議員と町長の関連な意見交換が交わされており、町の様々な現状を知ることができてとても勉強になりました。

これからも、町民の声を代弁し町民のために働いてくださる議会の皆さまを応援する思いで傍聴をしていきたいと思ひます。